

大安寺護寺会だより



平成三十三年九月七日発行第六号
発行責任者
大安寺護寺会理事長
北村 耕一

大安寺蔵 積尊涅槃図

「大安寺 上半期の行事の様子について」



天瑞山 大安寺 住職
大安寺 護寺会々長

押見 俊哉

檀信徒の皆様には、日頃より大安寺の護寺の為にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年も上半期が過ぎました。お寺では様々な年間行事が行われております。その様子については、後ろの記事で行事別に記載されておりますので、詳しくはそちらをご覧くださいと思います。

さて、お寺の年間行事の中で勤められる行事を分類するならば、

- ① 本尊（お釈迦さま）に関するもの〔降誕会・成道会・涅槃会〕
- ② 宗祖の道元禅師・瑩山禅師さまに関するもの〔両祖報恩会〕
- ③ 菩薩〔地藏・観音〕に関するもの
- ④ 我家の先祖供養に関するもの〔彼岸会・盂蘭盆会〕
- ⑤ 地域の先人供養に関するもの〔戦没者忠魂碑供養〕
- ⑥ 個人の願いに関する行事〔元朝大般若祈祷会・節分

お寺に参詣される人数の上からお話しすると、や④の我家の先祖供養に関する行事がトップになり私の立場としては、お寺の全ての行事に欠かさず詣頂きたいのです。

④の先祖があつて今の自分があるというのは、一感として分かり易いでしょう。自分をとり囲む社会親戚・町内・郷土・日本・世界と広がって、いって、中で先祖も自分も育てられてきた事に思いを巡らせ広く地域の先人達への感謝の念が起つて来る事です。本尊・宗祖の教えを学べば、より自分の人生の意深まる事に繋がります。

お寺では、法要以外にも、婦人会・ご詠歌の会（講）の組織や個人での研鑽の場である「坐禅のつどい」「読経・写経のつどい」があり、それぞれ活動して

ます。
文化面でのイベントとして「弦楽四重奏コンサー「落語」をチャリティーにてここ数年開催していま今年は十月二十九日に「命の授業」というこれもありリティーにて講演会を開催する予定です。

どうぞ、ご自分に関心のある事から結構ですかより多くの皆様にお寺に足を運んで頂きたく思っています。

坐 禅



大安寺 僧侶
押見 清純

坐禅は、仏教に入る正門であります。釈尊が、ご出家後の六年の苦行を止め、ありとあらゆるものの、あるべきすがたを正しく見極めるといふ立場の坐禅によって、世の中のすべての存在は仏の姿、さとりとしてあらわれているという悟りをお開きになったからです。坐禅とは、文字の通り坐る禅ということですから。

坐禅は、心を一カ処に集中しなければなりません。物事の表面の姿、形に執らわれて、好き嫌い、善し悪しの心の動きがあつてはできません。このように、環境の事象にとらわれることなく、真実の在り方を見極め、対処



坐禅正面



坐禅側面

して行くことを解脱げだつともいいます。この解脱げだつの道を体得し、体解たいげするのが禅の真義なのです。
世界中の一人でも多くの人々が、釈尊のみ教えによって信仰に根ざした日常生活がおくれるよう、坐禅をおすすめ致します。

今年の坐禅のつどい

・十月一日、十一月一日、十二月一日
午後三時より大安寺本堂において行
ないます。

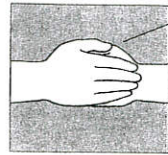
坐禅の前に

一、合掌

両手のひらを合せて、しっかりと指を揃えます。指の先を鼻の高さに揃え鼻から約十センチ離して肘を軽く張り肩の力を抜くようにします。

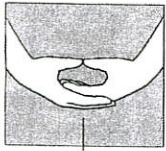
二、又手(しゃしゅ)

立っている時、歩く時の作法です。左手の親指を中にして、拳を作り、これを胸に軽く当て右手のひらでこれを覆います。



三、法界定印(ほっかいじょういん)

坐禅・正座の時の手の形です。右手のひらを上向きにして、組んだ足の上に置き、その上に左手のひらを同じように上向きに置き、両方の親指の先をかすかに接触させます。



四、隣位問訊(りんいもんじん)

坐る両隣の人への挨拶です。

五、対坐問訊(たいざもんじん)

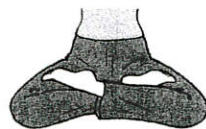
坐る向かいの人への挨拶です。

六、面壁(めんぺき)

壁の方に向くことです。

七、結跏趺坐(けっかふざ)

両足を組む坐り方です。



半跏趺坐(はんかふざ)

片足を組む坐り方です。

八、左右揺振(さゆうようしん)

上半身を振り子のように左右に揺り動かして、身を落ち着かせる行い。

九、上体の作法

背骨をまっすぐ伸ばし、下腹を突き出すようにします。頭で天をつきあげるようにすると背骨がまっすぐになります。

十、目の作法

目は閉じてはいけません。視線はおよそ一メートル前方、約四十五度の角度に落します。

十一、欠気一息(かんきいつそく)

深く息を鼻から吸い込み、これを徐々に口から吐き出す。自然と鼻からの呼吸にまかせる。

十二、口の作法

舌の先を上歯の内側の付根につけ歯をしっかりと揃え唇を密着させる。

十三、思いをはなつ

様々な思いにとらわれないこと。心に浮かぶ思念にも、なるがままにそれらの一切に引き込まれないように気にかけないこと。



椅子坐禅正面



椅子坐禅側面

平成二十三年七月までの大安寺の行事

元朝大般若祈禱会

平成二十三年一月元旦午前〇時
 ・大安寺本堂で、改歳にあたり人
 類の幸福・世界平和・仏法興隆・
 家門繁栄等を祈願し、参詣の方
 には「大般若札」をお渡し致しまし
 た。



厄払い追儺会

二月三日午後六時より
 節分にあたって、除災を祈り追
 儺のご祈禱を行い、本厄前後厄・
 合格進学・交通安全・身体堅固・
 家内安全・安産・商売繁盛の祈願
 を致しました。



本堂では、本厄・前後厄・合格
 進学等の方によって豆まきが行わ
 れました。

釈尊涅槃会

二月十五日午後一時より

お釈迦様のご命日（入滅）です。涅槃図を掲げて、お釈迦様を偲びし涅槃団子をお供えして、無病息災を願いました。参詣者には、涅槃団子をお持ち帰りいただきました。



春季彼岸会



三月二十一日午後一時より

お彼岸は、仏教の教えを实践する期間です。同時に、ご先祖の供養を致します。

お彼岸の先祖供養に合わせて、それぞれの水子供養も行いました。

釈尊降誕会

五月八日午後一時より

「花まつり」

お釈迦様の生誕を誕生仏に甘茶をおかけして、お祝い致しました。



大安寺護持会の理事会及び定例総会

平成23年1月31日、大安寺大広間において理事会と定期総会が行なわれました。

定期総会で平成22年の事業計画等について、理事、幹事、全員の賛同がありました。



教区護持会総会
檀信徒研修会

平成二十三年五月十八日登別温泉で曹洞宗北海道第二宗務所第二教区護持会・総会と檀信徒の研修会に大安寺護持会理事四名が出席しました。

大安寺護持会理事長の北村耕一さんは第二教区護持会の監査役として四年間お務めし、最後の監査報告を致しました。

研修内容

・玉峰寺住職 田沢豊彦老師

「二つの宝」

・北漸寺住職 鶴原憲秀老師
人権学習



梅花講の活動

大安寺の一年間の行事に合わせた、多くの活動と研修会への参加、その他、供養等への活動の範囲を広げています。

多くの皆さんの参加を希望しています。



婦人会の活動

・大安寺 婦人会は、お寺の行事ごとに、食事の配膳、研修会等幅広い護寺の活動を行っております。

・婦人会の役員が変りました。

新会長 芦野瑞江さん
副会長 村山勝子さん
前会長の中村ヨシノさん、長い間ありがとうございました。



新会長 芦野瑞江さん 前会長 中村ヨシノさん

大安寺チャリティー

クアルテット・エクセルシオ 弦楽四重奏団の演奏会

五月二十一日午後六時から大安寺ではおなじみになったクアルテット・エクセルシオ弦楽四重奏団の方による演奏会でした。チャリティーでの義援金は東日本大震災募金として日赤恵庭地区の窓口である市の福祉課へ届けられました。



今後の行事予定

◎ チャリティー教育講演会

腰塚勇人「命の授業」

平成二十三年十月二十九日(土)
午後二時～午後三時三十分
会場：恵庭幼稚園二階ホール

◎ 坐禅のつどい

・平成二十三年十月一日(土)
午後三時～午後四時三十分
・平成二十三年十一月一日(土)
午後三時～午後四時三十分
・平成二十三年十二月一日(木)
午後三時～午後四時三十分

◎ 読経・写経のつどい

平成二十三年十一月十八日(金)
午後二時～午後三時三十分

◎ 釈尊成道会

平成二十三年十二月八日(木)
午後一時より

◎ 元朝大般若祈祷会

平成二十四年一月一日(日)
午前〇時より